



試合No.	A3	女子決勝	
会場	マエダアリーナ	日時	平成27年11月8日 12:00

チーム A	72	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>10</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	22	1st	20	16	2nd	19	16	3rd	19	18	4th	10		OT		68	チーム B
22	1st	20																	
16	2nd	19																	
16	3rd	19																	
18	4th	10																	
	OT																		
秋田銀行	○		●	山形銀行															

No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls	No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls
4	成田 麻沙美 CAP	/	0	0	0	0	0	4	相澤 妹佳						
5	矢上 若菜	×	4	1	0	11	4	5	佐藤 綾香	/	4	0	2	10	1
6	鈴木 友佳子							6	赤川 愛 CAP	×	5	0	0	10	2
7	小松 恵	×	5	0	2	12	0	7	熊谷 菜奈						
8	阿部 優美香	/	0	1	0	3	2	8	渋谷 実菜子	×	1	0	0	2	4
9	橋田 幸華							10	森 木乃美						
10	永野 友香里	/	1	0	0	2	0	11	青山 彩七	×	7	4	2	28	2
11	加藤 茉奈美	×	0	5	0	15	5	12	中村 早希						
12	加藤 三津子							13	岩井 萌	/	0	0	0	0	0
13	伊藤 美和子	×	10	0	2	22	1	14	高橋 智歌						
14	星 希望	×	1	1	2	7	4	15	倉永 あずさ	×	1	0	0	2	1
15								16	木村 有沙	/	0	1	0	3	1
16								17	知久 麻美	×	2	2	3	13	1
17								18							
18															
-								-							
コーチ	小笠原 真人						0	コーチ	福島 雅人						1
	本数		21	8	6				本数		20	7	7		
	合計点数		42	24	6	72	16		合計点数		40	21	7	68	13

主審(Referee) 北沢あや子(宮城) 第1副審(Umpire1) 熊谷久美子(青森)  
 第2副審(Umpire2) 佐藤知穂(山形)

テーブルオフィシャルズ 青森中央学院大学

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー Fouls:ファウル \*印はエントリー変更

第1ピリオド、両チームともマンツーマンでスタート。山形銀行は#15倉永を起点にオフェンスを展開、対する秋田銀行は#13伊藤がインサイドを積極的に攻め、得点を重ねていく。秋田銀行が激しいディフェンスから速攻を出せば、山形銀行はハーフコートバスケットから確実に1本を入れ返す一進一退の展開となり、22-20と秋田銀行の2点リードで終了した。

第2ピリオド序盤、山形銀行は#11青山、#17知久の連続3Pが決まり、秋田銀行は1回目のタイムアウトを取る。このタイムアウトが奏功し、#11青山の連続3Pで同点に追いつく。山形銀行はゾーンプレスを仕掛けるが、秋田銀行は落ち着いて対処し、一進一退の展開は変わらず、38-39と山形銀行の1点リードで前半を折り返す。

第3ピリオド、秋田銀行は引き続きマンツーマン、山形銀行はゾーンディフェンスでスタート。両チームとも足を使った厳しいディフェンスにより、大きく点差が開くことのないままゲームが展開していく。試合が動いたのはピリオド終盤。山形銀行#11青山の3P、ドライブからのバスケットカウント→3点プレイにより、54-58と山形銀行の4点リードで第3ピリオドを終えた。

第4ピリオド開始早々、秋田銀行#5矢上が3Pを決め、57-58と1点差に詰める。さらに7分30秒には60-62と逆転に成功。その後も秋田銀行は激しいディフェンスでボールを奪い、堅実なハーフコートバスケットからゆっくりと、確実に得点を重ねていく。しかし、4分の時点で#4成田が負傷退場し、秋田銀行のリズムが微妙に崩れ、2分20秒には山形銀行の速攻でファウルをもらった#17知久がフリースローを2本とも沈め、再び同点となる。68-70と秋田銀行が2点リードの残21.2秒、秋田銀行#14星がフリースローを落ち着いて2本とも決め、秋田銀行が4点リード。山形銀行は最後のオフェンスチャンスで得点することができず、72-68と秋田銀行の優勝で幕を閉じた。